

# 大多府島（岡山県）



大多府島は岡山県南東部に位置する日生（ひなせ）諸島に属する島であり、周囲5 kmの島の北岸は天然の良港をなし、南岸は奇岩に富み、「勘三郎洞窟」など大小の洞窟が存在します。

また、大多府漁港の元禄防波堤、灯籠堂の石塁、大井戸が「北前船」の関連遺産として日本遺産認定されています。

## ●車の場合

山陽自動車道  
備前IC



大多府島行き  
船乗り場（日生港）

## ●電車の場合

JR赤穂線  
日生駅



大多府島行き  
船乗り場（日生港）

定期船時刻表 <https://taiseikisen.com>

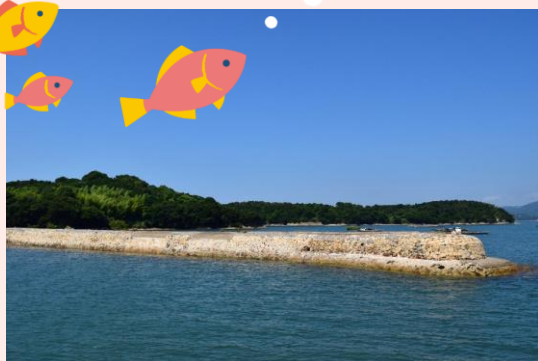


## 交通・アクセス情報

大多府島へ行くには、日生港にある大多府島行き船乗り場から約30分の船旅となります。日生港までは、山陽自動車の備前ICから車で約20分。

電車の場合は、赤穂線日生駅から徒歩で約10分で日生港に到着します。

# 観光情報



## 荒波を越えた男たちの夢が 紡いだ異空間～北前船寄港 地・船主集落～

令和4年7月日「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」として備前市が日本遺産に追加認定されました。その中の構成文化財の3つが大多府島にあります。

## 大多府漁港元禄防波堤

元禄防波堤は北西の波風を防ぐ石積み  
の防波堤。全長は約130Mにおよび  
1998年に防波堤として初めて国の登録  
有形文化財に登録されました。

## 灯籠堂の石罫

開港後まもなく島の頂上に設置され  
た灯籠堂の石罫です。

石組み基壇に木造の四角塔、瓦葺き  
宝形屋根を持つ10Mの灯籠で夕暮れに  
は火守りが皿に入れた油に点火し夜間  
航行の目印になりました。

## 大井戸

六角形の石枠で囲った古井戸。島唯  
一の水源として諸国の回船や御用船に  
飲料水を供給し、島民の生活を支えま  
した。



# 島での暮らし



## 漁村型宿泊施設

### ふれあいの館 かぜまち

「ふれあいの館かぜまち」は、風待ち港の漁師の民家をイメージした漁村型リゾート施設です。都会では味わえない美しい自然や漁村風景を満喫し、のんびりと楽しむことができます。

季節により海水浴、潮干狩り、自然散策、磯釣りなど、退屈とは無縁の島です。

#### 【施設概要】

1階：台所と囲炉裏のある談話室

バス、トイレ、冷暖房完備

2階：宿泊部屋（2部屋 各定員5名）

家族や小グループに最適です。

宿泊料金 大人：3,500円

小人：2,500円

※浴衣・パジャマ、歯ブラシ等をご持参ください。

#### 【お問い合わせ先】

備前市役所日生総合支所管理課

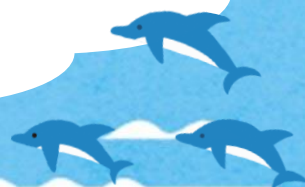
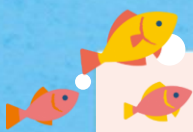
0869-72-1104

ふれあいの館 かぜまち

090-3357-3832



# 島での学びと体験



## アマモ場観察（里海学習）

大多府島の目の前に広がる、海のゆりかごと呼ばれる多年草のアマモ場を観察することができます。

アマモ場は、魚介類の産卵場、幼稚魚の成育場としての機能や海中の二酸化炭素を吸収し、酸素供給したり、海底の有機物を吸収するなど、海の環境を守るために多くの役割を果たします。

## 島散策（自然研究路）

周囲5kmの島の北岸は天然の良港をなし、「勘三郎の洞窟」など大小の洞窟があり、海蝕洞としては岡山県で代表的なものです。

大多府港は元禄11年(1698年)に開かれた古い港で、当時の防波堤が今も残るほか、灯台にあたる「燈籠堂」も再建され、島内には自然研究路も整備されています。



## 海ごみアートクラフト

海辺に漂着したゴミを回収し、貝殻やシーグラス、牡蠣養殖で使われる「マメ」と呼ばれるプラスチック製パイプなどを使用したアートクラフトを体験しながら、海ごみ問題について学ぶことができます。スノードームづくりやハーバリウムづくりなど様々なメニューの中から選択できます。

